

---

# バカと転生者と召喚獣（超絶チート）

祐樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカと転生者と召喚獣（超絶チート）

### 【Nコード】

N8949K

### 【作者名】

祐樹

### 【あらすじ】

普通に生きていた高校生久我祐樹は事故で死んでしまった。だが本来はその時死ぬはずではなかった。

どうやら神の手違いで、その時死ぬべき人間と祐樹を間違えたりしたらしい。

神は祐樹を転生させ、本来生きるはずだった人生をオマケ付きでやり直させてくれるという。

生きるはずだった人生をバカテスの世界でやり直す！  
というオリ主転生物です。

超！チートな主人公にするつもりなので、苦手な人は戻るか閉じる  
をお願いします・・・

## 第一問目「プロローグ」（前書き）

初めまして、祐樹と申します

処女作&自分の文才がどの程度なのかわかってないので、かなりの駄作になります・・・

精一杯努力しますので生温かい目で見てやってくださいw

## 第一問目「プロローグ」

祐樹「何なんだ・・・？」

目の前には血まみれの自分の体が転がっている

周りにはギャラリー壁を作っていて救急車の音が鳴り響いている

祐樹「意味がわからない。夢か・・・？」

いや、夢にしてはリアル過ぎるだろ・・・。何が何なのか良く分からない。

???「あなたは死んだんですよ。」

後ろを振り向くと白い天使？っぽい感じの女がいた

いきなり物騒なこと言いやがるな・・・。誰だこいつ・・・。

???「そうですね・・・。あなた方のいう【神】という者でしよ  
うか。」

祐樹「神・・・ねえ（笑）」

神「（笑）とかやめてください。」

いや、仕方ないだろ？いきなり神とか言う女がいたら痛いとは思わん「痛いとか言われても神なんだから仕方ないじゃない・・・」  
心読まれてるのか？「読んでますよ？」プライバシーの侵害で訴えたら勝てるのかな・・・？

神「あなた死んでるのにどうやって訴えるつもりですか？」

そうだ、今はこんな痛い女のことはどうでもいい。それよりも大事なことがある

祐樹「死んだってどういうことだ？」

神「そのままの意味ですよ。あなたは先ほど交通事故にあって死んだのです。」

交通事故・・・そういえばオレは確かトラックに轢かれたはずだ。学校の帰りに友達と同人誌を買って帰る途中で信号無視のトラックに撥ねられて・・・  
そうか、死んだのか。

祐樹「思い出したよ。なるほど、死んだのか」

神「ずいぶん冷静なんですね」

祐樹「慌てたら生き返らせてくれるのか？」

正直、今の人生には退屈していた。

普通に学校に行き、普通に勉強して、普通に帰って、普通に寝る。それは幸せなことなんだろう。

だが、毎日同じことを繰り返すことに正直飽きていた。  
だから死んだと言われても特に未練など無かった。

祐樹「それで？オレはこれからあの世にでも行くのか？」

神「・・・」

祐樹「なに黙ってるんだ？」

神「ごめんなさい……。」

祐樹「は？いきなり何を……。」

神「あなたは本来、あの時死ぬはずじゃなかった……。」

どういうことだ？死ぬはずじゃなかったって……

神「本当はあの時死ぬはずだったのはあなたの友人の方なんです。私の手違いであなたを死なせてしまいました……。本当にごめんなさい。」

ふうん……。オレじゃなくてあいつの方だったってのか。オレは神の手違いでぶっ殺されたと。

祐樹「それはいいや。その代わりあいつは生きてるんだろ？だったら問題ない。それより、オレはこれからどうなるんだ？」

神「問題あると思うのですが……。とりあえずあなたに二度目の生を授けます。本来生きるべきだった時間をもう一度生きてもらいたいんです。」

祐樹「1からやり直すってこと？」

神「正確には違います。あなたが死んだ事実は変わりません。です  
ので、別の世界でもう一度生きてほしいのです。」

別の世界・・・？つまりどういうこと？

神「世界というのは複数あります、それこそ星の数のように。例えば人が小説などで考えた世界があります。それも一つの世界として構成されるのです。ですので、世界というのはあなたが生きていた世界とは別に、無限に存在するものなのです。」

いわゆる並行世界か・・・

祐樹「なるほど。それで行く世界は選べるのか？」

神「はい。あなたの行きたい世界に送らせていただきます。」

さて、どこにしようか・・・。

簡単にいえば小説の中に飛び込めるってことだよな？

まあ、マンガやアニメでもいいんだろうけど。

そつえば読んでる最中の小説があったな。

その世界に行ってみるか。

祐樹「バカとテストと召喚獣って小説の世界に行きたいんだが、出来るか？」

神「はい、可能ですよ。それでどうします？」

どうするとは・・・？

神「つまり年齢や外見ですね。さらに能力の方も付けられますよ」

ほほう、それはスバラスイ。バカテストの世界ならぜひとも欲しい能力があるんだよね

祐樹「なら年齢は主人公、明久と同じ。外見はとりあえずカッコよく！メツチャモテたい！能力はそうだな……。瞬間記憶能力と運動神経は抜群で。」

これだけあればある程度チートになれそうだな

神「わかりました。運動神経の方はオリンピックの金メダリストくらいにしておきます」

抜群どころじゃないな……。世界トップクラスか……。

祐樹「よろしくw」

神「それでは、送らせていただきます。目を閉じていてください。潰れちゃいますから」

最後の最後で何てこと言うんだこいつは……。そんなことを思っていたら白い光に包まれ、浮いている感覚を味わった。

そして気付かぬうちにオレは眠りに落ちていった

## 第一問目「プロローグ」（後書き）

ノリと勢いで始めました

書いていくうちに文才の無さに涙が出そうでしたよ・・・。

頑張って書いていくのでよろしくお願いします！

## 主人公設定

主人公設定です  
ちよくちよく変更があるかも・・・

名前：久我祐樹

享年：17才

趣味：読書

特技：特に無し

得意科目：社会 国語

苦手科目：英語 理科 数学

成績は中の下

オタクと言われる人種

仲間に対しては優しいが、根が腐った人間に対しては容赦がない  
ちなみにこの設定は転生前のものです

転生後は

外見はつよ。すの伊達ス。ルだと思っています（あ

髪は銀色

目は赤

身長175cm

体格は痩せ型だがちゃんと筋肉もついている

CVはもちろん子安さん

能力は

？完全記憶能力

？運動神経向上

本人の能力はあと2つほど追加しようと思っています  
召喚獣の腕輪は召喚時にご紹介しますw

では主人公設定はこの辺でノシ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8949k/>

---

バカと転生者と召喚獣（超絶チート）

2010年10月11日11時07分発行